

地方税収の偏在是正について

木田 昇 議員【大分市選出】

関東一極集中は、人口のみならず様々な機能まで及んでおり、東京都と地方の財政力格差は拡大し続けています。

東京都はその潤沢な税収を背景に、子育て支援や教育施策など独自政策を次々に展開しています。



東京都の主な子育て支援策

事業名	概要
018 サポート	0～18 歳の子ども一人当たり月額 5,000 円を支給 所得制限なし
子育て応援+（プラス）	0～14 歳の子ども一人当たり 11,000 円を 1 回支給 所得制限なし
保育料等の第一子無償化	認可保育所等を利用する全ての世帯の保育料を無償化 所得制限なし
東京都出産・子育て応援事業 ～赤ちゃんファースト～	子育て家庭に育児用品や子育て支援サービス等を選べる ギフトカードを提供 所得制限なし

出典：東京都福祉局ホームページ（<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/>）を基に作成

一方、地方では人口減少や高齢化、インフラの維持・更新、防災・減災など多くの課題を限られた財源で懸命に行政運営しています。地方税収の再配分、いわゆる偏在是正にどのように取り組むのでしょうか。

（総務部長答弁） 県としても地方税収の偏在是正の取り組みを加速するよう、全国知事会を含めあらゆる機会を通じて国に働きかける。

まだまだ続く教職員不足！

大分県も含め全国的に教職員不足が続いている状況は私も会報で度々報告してきました。3月の第1回定例会でもこの問題が取り上げられ、教育長は「多くの業種で人手不足が深刻化する中、正規教員の安定確保は喫緊の課題と認識している」と答弁しています。

大分県下の今春の始業式時点で教職員の欠員数は下記の表の通りです。

今春の新学期時点での教職員の欠員状況

小学校	10名（27名）
中学校	4名（12名）
高校	6名（4名）
特別支援学校	15名（13名）
計	35名（56名）

※（ ）は昨年同時期の欠員数です。この数は条例定数に対する欠員で、加配の欠員は含まれていません。

昨年よりも欠員が減少した理由として県教委は、「昨年度末は定年延長により定年退職者がいなかった」、「今年度から教員採用試験において補欠採用制度を設けたことから採用者が増えた」と説明しています。



現在、教育現場ではたくさんの臨時講師の方々、非常勤講師の方々、会計年度任用職員の方々が勤務されていて、中には短時間勤務の方々もいらっしゃいます。そして、それぞれが現場の大きな力となってくれています。

しかしながら、学校の安定的な運営のためには、やはり正規教員の確保が欠かせません。

県教委は、正規採用枠の拡大、臨時講師の経歴による一次試験の免除、教員免許保有者への告知など、教員採用試験の受験者が増えるよう取り組みを進めていますが、なかなか受験者数は増えない状況が続いています。

地域の産科医療体制の確保について

若山 雅敏 議員【宇佐市選出】

周産期医療体制の確保は喫緊の課題です。



しかし、周辺地域においては産科医師の高齢化や担い手不足に加え、助産師・看護師の確保も困難となっており、分娩の取り扱いを休止し、または廃業する施設が増えています。

県として地域の産科医療体制の確保について、今後どのように取り組んでいくのでしょうか。
（知事答弁） 2024年度からの第8次大分県医療計画で、周産期医療圏を3つに再編しており、搬送体制も含め広域的に連携する周産期医療ネットワークを構築している。また、助産師を対象に分娩介助スキル向上を目的とした研修を実施し、昨年度は90人が受講した。



原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町12番18号 原田たかし事務所内

私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

大分県議会 県民クラブ

検索

<https://kenmin-club.com/>

